

変 更 理 由 書

本市の下水道整備は、全県域下水道整備基本構想で定めた市全域を公共下水道で整備することを目的に鋭意推進中であり、令和6年度末での下水道整備率、水洗化率はそれぞれ98.5%、99.1%となっている。

一方で、気候変動による降雨量の増加や宅地化等土地利用の変化に伴い、浸水被害が増加しており、田熊1～3丁目においても家屋浸水被害や道路冠水被害が頻発している。生活排水処理施設の早期整備に加えて、人命の保護や都市機能の確保等の観点から、浸水解消に関わる雨水整備は、主要課題として取り組みが求められている。

今回の計画決定では、浸水被害の軽減を図ることを目的に、雨水ポンプ場を追加する。

変更の概要は以下のとおりである。

①ポンプ場の追加決定

- ・田熊1～3丁目の浸水被害を軽減するために、田熊雨水ポンプ場を追加する。